

1. 事業説明シート

<p><b>事業名</b></p>	<p>道路事業[緊急道路整備改築事業 (国補)]</p>	<p><b>事業箇所</b></p>	<p>南巨摩郡富士川町鯨沢</p>	<p><b>地区名</b></p>	<p>(一) 高下鯨沢線 (鯨沢工区)</p>	<p><b>事業主体</b></p>	<p>山梨県</p>																																						
<p><b>(1) 事業の概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                  本路線は、富士川町高下を起点とし、同町鯨沢の (主) 韮崎南アルプス富士川線交差点に至る全長約7 kmの一般県道である。                  当該区間は、道路幅員が狭小で、車両のすれ違いが困難な交通の隘路となっている。県内有数の桜の観光地である大法師公園への主要経路であるとともに、高下地区や小室地区から町の中心部を結び重要な生活道路であるため、早急な整備が望まれている。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p>□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上                  ・道路改良率 32.9% (R5道路現況表) &lt;65.0%未済 ※                  ・混雑時走行速度 20.0km/h (R3セサス) &lt;30.0km/h以下 ※                  ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保                  ・歩行者・自転車交通量 20人台/12h (実測値)                  &lt;80人台/12h (平日) 以上※                  ・自動車交通量 1,146台/12h (R3センサス)                  &lt;3,340台/12h (平日) 以上※                  ・通学路指定 指定あり※                  ・現況の歩道幅員 0m &lt; 1.4m※                  ※評価基準値</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持                  (行き止まり集落の唯一のアクセス道)</p>				<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b> 妥当 妥当でない</p> <p><b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  一般通行の用に供する県道で、極めて公共性が高い。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  県道の改築であり、道路法第15条により県が行うべき事業である。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <table border="1" data-bbox="1115 451 1995 670"> <tr> <td>総事業費</td> <td>500 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6 ~ R13</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>424 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">835 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>398 百万円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td colspan="2">664 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>26 百万円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td colspan="2">26 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td colspan="2">0 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">145 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.9</td> </tr> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益                  費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  現道拡幅の2車線改良としており事業規模は妥当である。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  現道敷地を有効活用し周辺への影響が少ない、経済性に優れた計画である。</p> <p><b>⑥環境負荷等への配慮</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  大規模な自然環境の改変ではないため、自然環境に対し想定される負荷は少ない。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない                  狭隘部の解消に対する地域住民の期待は大きく、道路改良に対する要望が強い。</p> <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">[貢献度ランク: a]</span></p>				総事業費	500 百万円	工期	R6 ~ R13	基準年	R6	経済効率性	費用	424 百万円	便益	835 百万円		建設費	398 百万円	走行経費減少便益	664 百万円		維持管理費	26 百万円	走行経費減少便益	26 百万円				交通事故減少便益	0 百万円				その他※	145 百万円		B/C			1.9		
総事業費	500 百万円	工期	R6 ~ R13	基準年	R6																																								
経済効率性	費用	424 百万円	便益	835 百万円																																									
	建設費	398 百万円	走行経費減少便益	664 百万円																																									
	維持管理費	26 百万円	走行経費減少便益	26 百万円																																									
			交通事故減少便益	0 百万円																																									
			その他※	145 百万円																																									
B/C			1.9																																										
<p><b>(2) 整備内容</b></p> <p><b>①整備内容</b> 道路改良 L=420m W=5.5 (7.0) m</p> <p><b>②着手年度</b> 令和6年度 <b>③完成見込年度</b> 令和13年度</p> <p><b>④総事業費</b> 約500百万円 (国費277百万円(5.55/10)県費223百万円(4.45/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="235 1102 1016 1347"> <tr><td>令和6年度</td><td>測量・設計</td><td>20 百万円</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>用地測量・用地補償</td><td>60 百万円</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>用地補償</td><td>100 百万円</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>用地補償</td><td>100 百万円</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>用地補償</td><td>100 百万円</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>道路改良工事</td><td>40 百万円</td></tr> <tr><td>令和12年度</td><td>道路改良工事</td><td>40 百万円</td></tr> <tr><td>令和13年度</td><td>舗装工事</td><td>40 百万円</td></tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p><b>⑥既整備内容・期間・事業費</b> なし</p>				令和6年度	測量・設計	20 百万円	令和7年度	用地測量・用地補償	60 百万円	令和8年度	用地補償	100 百万円	令和9年度	用地補償	100 百万円	令和10年度	用地補償	100 百万円	令和11年度	道路改良工事	40 百万円	令和12年度	道路改良工事	40 百万円	令和13年度	舗装工事	40 百万円	<p><b>(4) 事業位置図等</b></p>  <p>凡例                  今回事業評価箇所 <span style="color: red;">■</span></p>																	
令和6年度	測量・設計	20 百万円																																											
令和7年度	用地測量・用地補償	60 百万円																																											
令和8年度	用地補償	100 百万円																																											
令和9年度	用地補償	100 百万円																																											
令和10年度	用地補償	100 百万円																																											
令和11年度	道路改良工事	40 百万円																																											
令和12年度	道路改良工事	40 百万円																																											
令和13年度	舗装工事	40 百万円																																											

## 2. 添付資料シート

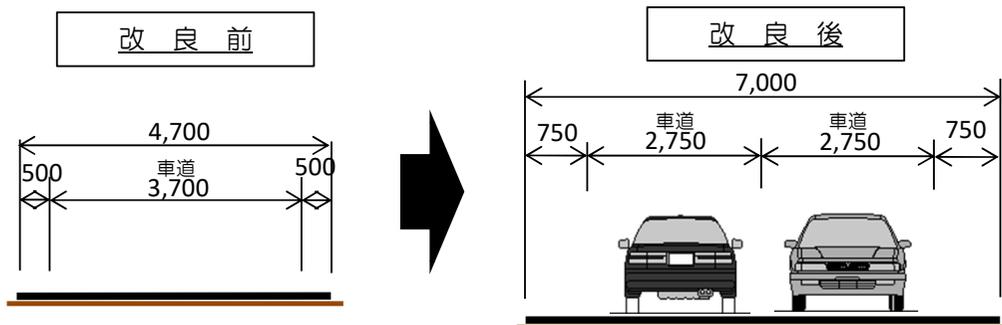
【平面図】



凡例

今回事業評価箇所

【標準横断図】



【写真①】



起点側の状況  
(幅員が狭く、すれ違いが困難な状況)

【写真②】



終点側の状況  
(幅員が狭く、すれ違いが困難な状況)